



「日豪草の根交流計画(第二次)」の対応について

外務省の対日理解の促進を図る交流事業「日豪草の根交流計画(第二次)」のうち、呉工業高校専門学校学生との交流会が、入船山記念館において、開催されます。

1 「日豪草の根交流計画(第二次)」事業概要

外務省が主催する「日豪草の根交流計画(第二次)」は、第二次世界大戦時の経験に起因して日本に特別な感情を持つ豪州人元戦争捕虜(POW)が所属する全豪退役軍人会(RSL)幹部及び元POW子孫等の関係者を招聘し、RSL内部においても本件を日豪戦後和解の成功例として継承させ、「心の和解と交流」を促すことを通じて、日豪間の相互理解の促進を図ることを目的として実施する交流事業のこと。

2 交流会概要

呉工業高等専門学校学生が、元POW子孫等の関係者に、占領当時の暮らしについて解説を行います。入船山記念館建設や金唐紙について、補助的な解説が必要となれば、当課学芸員が案内します。

3 実施日時

3月10日(金) 14:30~15:30

4 場 所

入船山記念館 旧呉鎮守府司令長官官舎 客室

5 参加者(予定)

日豪草の根交流計画(第二次) 招聘者 3名

広島工業大学 光井周平先生

呉工業高等専門学校 上寺哲也先生

呉工業高等専門学校の学生

6 その他

「日豪草の根交流計画(第二次)」において、平成31年2月27日に呉へ来られた際も、入船山記念館に立ち寄り、客室内で記念写真の撮影を行いました。

なお、今回は元POW子孫等の関係者の中にご高齢の方がおられることから、当日の健康状態等により、急遽取り止めになる可能性があります。